

事件公債ヲ以テ充テルコトシマス、又其ノ財源ハ全部支那
所管ノ北支事件第一豫備金竝ニ其ノ財源ニ充
ツベキ歳入モ本會計ニ移シマシテ、整理ヲスル
コトトナックト云フ 説明デアリマス、二、昭和
十二年度歳入歳出總豫算追加第一號ニ付テ
申上ゲマス、其ノ歳入ハ六百六十餘萬圓、
歳出ハ四千二百六十萬餘圓、差引キマシテ
歳入不足額三千五百九十餘萬圓、此ノ不足
額ハ本年度ノ豫算實行上ニ於ケル歳出不用
見込額ヲ以テ充テルト云フ 政府ノ考ダサウ
デアリマス、歳入ノ内譯ヲ申上ゲマスト、
普通歳入五百六十餘萬圓、是ハ刑務所收入
ノ增加ガ三百四十餘萬圓、森林收入ノ增加、
百八十餘萬等ガ含シニ居リマス、前年度
剩餘金ノ繰入ガ百餘萬圓、歳出ノ内譯ハ北
支事件費ノ增加九百十餘萬圓、軍事扶助費
ノ增加千五百萬圓、軍人援護事業ノ充實ニ
要スル經費百萬圓、防空法施行ニ要スル經
費ガ八十餘萬圓、國民精神總動員ニ要スル
經費七十萬圓、國債整理基金特別會計繰入
ノ增加六百十餘萬圓、刑務所軍需作業施行
ノ經費ノ增加二百二十餘萬圓、國有林臨時
研伐事業ノ經費二百三十餘萬圓、疏安輸入
損失補償ニ關スル經費百四十餘萬圓、農山
漁村應急施設ノ經費七十餘萬圓デアリマ
ス、此ノ中北支事件費ノ增加ハ居留民救護
費、其ノ他外交上必要ナル經費デアリマシ
テ、事態ノ擴大ニ伴フ爲ノ增加デアルト云
フノデアリマス、又軍人援護事業ノ充實ニ

デ援護ヲ要スル者へ、援護事業ノ充實ニ
對スル助成等ノ經費、アルト云フノデアリ
マス、國債整理基金特別會計繰入金ノ増加
ハ、支那事件ノ公債發行ニ伴テ利子及證書
製造費ヲ要スル爲、之ガ相當額ヲ一般會計
カラ繰入レムトシタモノデアルトノコトデ
アリマス、其ノ他ノ説明ハ省略ヲ致シマ
ス、三、昭和十二年度各特別會計歳入歳出
豫算追加特第一號ニ付テ簡單ニ申上ゲマ
ス、印刷局、國債整理基金、公債金、關東
局、陸軍造兵廠、海軍火薬廠、帝國大學、
朝鮮總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ關スル
經費ニアリマス、併シ此ノ中デ印刷局ヤ國債
整理基金、公債金、陸軍造兵廠、海軍火薬
廠等ノ經費ハ、是ハ主トシテ一般會計及臨
時軍事費特別會計ノ支出ニ伴フモノナデアッ
テ、其ノ大部分ハ是等會計ト重複スルノデ
アリマスカラ、事實上ノ增加ヲ來シテ居リ
マセヌト云フコトデアリマス、豫算委員會
ハ九月七日午後三時三十分ヨリ開催ヲ致シ
マシテ、當局ノ説明ヲ終リマシテ質問ニ入
リマシタ、九月八日モ午前十時開催、質問
ス、初ニ支那事變ニ關スル質問ヲ引括メテ
申上ゲタイト思ヒマス、出征遺族家族ノ扶助
ガ餘リニ少イ、軍事扶助金ハ増額スル考ヘ
ナイカ、軍人援護事業ニ要スル所ノ經費百
萬圓ハ少イト思フガドウデアルカ、元來軍
人援護ト云フコトニ付キマシテ扶助ヲスル

際ニハ、公平ヲ保ト云フコトガ最モ必要デアル、即チ生活困難ヲ救フト云フコトガ原則デナクテハナラナイ、官吏及社員等ハ全額ノ俸給ヲ支拂ツテ貰フノデアルガ、貧村ニ於ケル小學教員ヤ、或ハ獨立生活者迄ハ是ガ渡ラナイノデアル、兵士トシテ出征スル本人ハ何等他人カラ貰フト云フコトハ考ヘテハ居リマセヌケレドモ、國家トシテハドウシテモ之ヲ扶助シナケレバナラヌト思フ、是ハ餘リニ少イト思フガドウデアルカ、之ニ對シテ當局ハ、今日ノ處間ニ合フ積リダ、軍事扶助法ニ該當セザル者ヘノ救護助成ト云フヤウナ經費トシテハ、是ハ先程申シタ通リ政府へ百萬圓ヲ計上シテアリマス、之ヲ言フノデアリマス、少イト云フケレドモ各方面ニ新團體モ出來マスシ、又寄附モ豫想以上ニ多クナッテ來タノデアル、此ノ故ニ銃後ノ救援ヲナスト云フコトヘ、相當ニ出來ル、政府ハ必ずシモ之ヲ當テニハシマセヌケレドモ、援護事業ニハ是ハ大イニ貢獻シテ居ルノデアル、實際獨立生活者ヘノ扶助ノコトヘ、地方長官モ大イニ苦慮シテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シテ地方部長ノ會合迄シタノデアル、或ハマダ行届カナイ點モアルカトモ思ヒマスケレドモ、是ハ將來ハ大イニ注意ヲスルト云フコトデアリマス、又事變ニ付キマシテ思想攪亂ニ付テノ質疑答ガアリマシタ、防空ニ付キマシテ、是ハ半官半民ノ有力ナル助成機關ヲ設置スルノガ必要デアルト思フガ政府ノ考ハ如

何、防空局ガ出来ルト云フコトデアルガ、
内務省ニ於ケル從來ノ關係者デ之ヲ構成ス
ルノカ、或ハ斯道ニ曉通シタル専門家ヲ入
レテヤル氣デアルカ、當局ハ言ハレルノニ
ヘ、民間ノ専門家ヲ入レタ助成機關ハ是ヘ
頗ル必要ト思フガ、モウ少シ研究シタ上デ
實施シタイト思フ、防空局ノ組織ニ關シテ
ハ専門家ヲ入レル必要ガアルトハ考ヘル
ガ、今度ノ豫算ニハマダ入ッテ居リマセ
ヌ、ソレカラ軍需品ノ供給ニハ支障ハナイ
カ、軍需品デ海外カラ入レル物ノ金額ハド
ノ位デアルカ、當局ノ答ニハ、軍需品ノ補給
ヘ目下ノ處要求ニ充足シテ居ル、今後ノ補
給ニ付テハ今カラ申スコトハ出來マセヌト
云フコトデアリマス、非常時對策トシテ有
益ナルト否トニ拘ラズ、不急ノ事業ハ斷然
中止、又ハ繰延ブベキデアル、軍事上最モ
有要ナル鐵材ノ如キ、即時斷行ヲ要スルノ
デハナイカ、鐵道線路一哩ダケ儉約シテ
モ、其ノ鐵ハ最モ有要ナル軍事上ニ使ヘル
ノデハナイカ、此ノ點ハドウデアルカ、又
鐵道ノ新線ニ代ヘルノニ航空ノ擴張ヲシタ
ラドウダ、鐵道ノ益金ヲ以テ航空ノ方ニ之
ヲ流用スル意思ナキカ、又「マスク」ノ製造
能力ガ如何ニモ貧弱デアル、此ノ點ハドウ
デアルカ、防毒用具工場ニ補助ヲ與フル意
クノ検査ヲ行シテ行クト云フヤウナ考ハナ
イカ、此ノ質問ニ對シマシテ政府ノ答ヘマ
スノニハ、鐵道ハ國防上必要ナルモノデア

ハ此ノ際ハ造ラナイ、併シ軍事輸送力ノ増進上、機關車ノ如キハ最モ必要デアルカラ、是等ノ事業ニ集中スル考デアル、「マスク」ハ今日如何ニモ不十分デアル、將來ハ之ニ付テ大イニ努力スル考デアル、又検査モヤリタイノデアル、之ニ付テハ豫算ニモ現レテ居ルト云フノニアリマス、此ノ事變後ニ於キマシテハ、我ガ積極的文化運動ニ依リマシテ、文武兩道相俟ツテ東洋ノ平和ヲ積極的ニ確立スルト云フコトガ必要デアルト思フ、又是ガ重大ナル我ガ帝國ノ任務デカト云フコトデアリマス、暴戾ナル支那ヲ反省セシムルコトハ彼ヲ永遠ノ敵トスルノアルト思フガ、政府ハ如何ニ之ヲ考慮スルウナモノデアル、耕スコトモ必要デアルガ、其ノ上ニ之ニ灌漑シ、肥沃ノ地タラシメ、農產物ノ收穫ヲ豊富ナラシムルノガ重要デナクテハナラナイ、是ト同様ニ事變後ニ於キマシテハ、支那ヲシテ日本帝國ヲ信賴セシメ、我ガ德化ニ潤ハシムルコトガモ肝要ノコトデアルト思フ、武ハ非常時ノコトデアリ、文ハ恒久的ノコトデアル、寸時モ之ヲ等閑ニ付スル能ハズ、文化ハ文弱ナル力デアル、平時ノ戰爭ハ文化戰爭デアル、由來帝國ノ武力ハ世界ガ認メテ居ルト共通ナルノ觀ガアルケレドモ、實ハ偉大

ア、徒ニ模倣追隨ヲ止メテ、我ガ獨創的ノ偏傾ヲ正サシメナケレバナラ、ナイト思フ、我ガ國ノ文化復興ノ時期ハ今日デアル、是ニハ國民ノ強キ信念ヲ要シマス、國民總動員ノ要モ茲ニ生ズルノデアル、要スルニ文武協力以テ此ノ大事變ヲ突破シテ、優渥ナル勅語ノ御精神ニ奉答シナケレバナラナイト思フ、對支文化事業ノ特別會計ダケデハ到底不足デアルト思フガ、政府ノ所信如何、首相ハ之ニ對シ答ヘテ居リマス、日支ハ將來文化的ニ提携シ、東洋文化及東洋平和ノ確立ニ努力シナケレバナラナイ、支那ニ文化工作ヲ爲ス必要アルコトモ同感デアル、支那抗日ノ背後ニハ赤化ノ勢力ガアル、此ノ勢力ノアル間ハ抗日ヲ棄テシムルコトハ頗ル困難デアル、思想上ノコトデアリマスカラ、武力戰ト同時ニ思想戰ヲ以テシナケレバナラナイ、此ノ故ニ文化工作ハ特ニ支那ニアリテハ一層必要デアル、又之ヲ支那全面ニ工作スルト云フコトハ廣過ギテ困難デアルガ、幸ニ北支ハ満洲ニモ近ク、北平ヲ答辯ガアッタノデアリマス、次ニ財政ニ付キマシテ一二ノ御紹介ヲ致シマス、臨時辯デアリマス、其ノ外當局ヨリモ同感ト云一步トシテ茲ニ著眼スルノガ必要デアルト思フ、大體ニ於テ頗ル同感デアルト云フ答付キマシテ一二ノ御紹介ヲ致シマス、臨時軍事費ノ豫算編成ニ付テ、公債ノ消化、金

ノ現送、物價騰貴ノ對策、事變收拾ノ時期等ニ付テノ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ガ言フノニヘ、公債ノ消化ニ付キマシテハ極力努力シテ居ル、其ノ少額ナルモノハ郵便局迄利用シテヤル者デアル、此ノ際忽ブベキハ出來ルダケ忍ブヤウニスルノガ正當デアル、戰費ガ多ク出ルコトデアルカラ、購買力ヲ増加スル傾向ガ起ルノハ自然デアル、之ヲ一般的ニ投下シテ公債ニ向ケルヤウニ仕向ケナケレバナラナイ、資金全體ガ無駄ナ方向ニ流レナイヤウナ方法ヲ議ジマシテ、各方面ト連絡協力致シマシテ公債ノ消化ニ當ル積リデアル、併シナガラ今日ノ金融界ハ必要以上ニ警戒シテ居ルヤウニ見エル、是デハ金融ガ詰ルト云フコトニナリ易イノデアル、要スルニ市場ニハ資金ガ潤澤ニナルヤウニ、又同時ニ適當ニ公債ヲ吸收スルト云フコトニスルノガ原則デアル、サウ云フ風ナ按配ヲ今後十分ニ考慮シテヤル積リデアリマス、金ノ現送ニ付キマシテハ、本年度ダケハ新產金程度以上ニタルカ知レマセヌケレドモ、大體新產金ノ範圍ニ其ノ輸出ヲ止メル、現送ヲ止メル考デアル、需要供給、是ハ必ズシモ今日ノ際合ハセル必要ハナイト思フ、不用品ニ付テハ輸入ヲ抑制シ、必要缺クベカラザルモノハアル、加フルニ人爲的ニ消費ノ統制ニ依リマシテ、又國民運動ニ依リマシテ物價ノ調節ヲ考ヘテ行ク積リデアルト云フ答辯デア

リマシタ、時局收拾ノ時期ニ付キマシテ首先ヨリ答辯ガアリマシタ、收拾ノ見透シニ付テハ明カニ答ヘルコトハ困難デアル、要スルニ支那ガ反省シ、戦意喪失ノ時ニアルノデアリマス、又如何ニシテ收拾スルカハ戰争ノ遂行以上ニ重大ナルコトデアリマシテ、之ニ付キマシテハ政府シテハ既ニ考究シツ、アルノデアリマスト云フコトデアリマス、農村對策ノ問題、負擔ノ輕減、生産費現狀維持、農產物收入ノ保険、農村ノ美風ヲ維持スルコト等ニ付テノ質問ガアリマシタ、農村ト云フモノへは特別ノモノデアツテ平時、戰時、戰後ヲ問ハズ、餘り大ナル變化ノナイヤウニ努メナケレバナラナイ、特ニ負擔輕減ヲ考慮シナケレバナラナイ、生産費ハ兎角騰リ易イ、之ニ反シテ收入ハ割合ニ増サナイ、ダカラ之ヲ緩和シナケレバナラナイ、之ヲ緩和スルノニハ肥料ノ配給ヲ考ヘルコトガ主デアル、ダカラ此ノ法案ヲ政府ガ今度出シタノデアル、農產物ノ保険ニ付キマシテハ、元來山林、漁船、家畜等ノ保険ハ今アリマスガ、農業保険ハマダ出來テ居リマセヌ、是ハ成案ヲ作リマシテ次ノ議會ニ提出スル考デアルト云フ答デアリマス、農村ニ於テノ美風即チ相互扶助ノ美風ト云フコトハ、是ヘ我ガ國構成ノ要素テアリマシテ、出來ルダケ保存シナケレバナラスト云フコトハ同感デアルト云フ答辯デアリマス、此ノ外軍事外交ニ關スル重要ナル質疑應答ハアリマシタケレドモ、此ノ際省略ヲ致シマス、本日午前十一

時四十五分討論ニ入りマシテ、二委員ヨリ賛成ノ意ヲ述べラレマシタ、其ノ大體ヲ申デアル、同文同種ノ支那ニ對シ膺懲ノ戰ヲ爲ス所ノ豫算ニ我々ガ同意スルト云フコトハ、能ク々々重大ナル理由ガ存在シタ爲デアル、是ハ明カナコトデアリマス、我々ハ項目ノ内容ヲ問ハズ悉ク我ガ軍ヲ信賴スルノデアル、我ガ忠勇ナル將士ガ北支ニ中支ニ、到ル所武勳ヲ發揚シツ、アルコトニシテハ、誠ニ滿腔ノ謝意ヲ表スルノデアリマス、希クハ徹底のニ所期ノ目的ヲ達成セラレムコトヲ祈リマス、之ヲ以テ豫算案全部ニ贊成スルトノコトデアリマシタ、他ノ一委員モ、之ニ付テ全然同感デアル旨ヲ述べテ贊成ノ意ヲ表サレマシタ、採決ニ移リマシタル處豫算三案共、全部全會一致、政府原案通り可決ニ相成リマシタ、此ノ段報告ヲ終リマス

ムル爲ニ、其ノ經費トシテ政府ノ提出セラ
レタル二十億圓ノ豫算ニ協賛ヲ與ヘムトス
ル所以ノモノハ、下ニ述ブル重大ナル意義
ガアルノデアリマス、支那古代ノ文化、殊ニ
其ノ精神文化ハ人類ノ到達シ得タル最高ノ
結晶デアルト考ヘマス、此ノ驚クベキ文化
ノ跡ハ、今尙文獻ニ於テ燦然トシテ永遠ニ
其ノ光彩ヲ殘シテ居ルノデアリマス、古代
支那ノ精神文化ノ中心ハ仁義ノ二字ニ存シ
ニ居リマス、此ノ觀念ハ恐らく西洋文明ノ想像
シ得ザル高貴ノモノデアルト思ヘレルノデ
アリマス、西洋ノ知識ヲ以テシテハ恐らく
想像スルダニ不能ナル觀念デアリマシテ、
從テ西洋ニハ此ノ仁義ヲ現スペキ相應ハ
シイ言葉サヘナイノデアリマス、支那ハ斯
クノ如ク世界ニ卓絶シタル文化ノ創造者デ
アリマス、然ルニ今日ノ支那ハ此ノ文化ノ
創造者デアルト云フ事實サヘ忘レタヤウデ、
徒ニ西洋近代文化ニ陶醉シ、唯富ト力、此
ノ二ツガ彼等ノ理想ノ總テデアリマシテ、支
那各地ニ分據シテ居ル所ノ所謂軍閥ナルモノ
ノ性質ヲ研究致シマスト、遺憾ナガラ斯クノ
如ク解釋スルヨリ外ナイノデアリマス、支
那ハ蔣介石ニ依ツテ一度統一サレムトスル
情勢ヲ見タノデアリマスガ、此ノ事實ハ之
ヲ精神的ニ見マスルナラバ、唯既存勢力ノ
ドハ彼等ノ意圖スル所デハナク、統一途上
ニアル支那ハ斯クノ如ク建國ノ初ニ於テ
セヌ、政治ノ目的タル人民ノ福祉ノ増進ナ
誤ツテ居ルノデアリマス、從テ國民ニ對ス

ル指導精神ナドヲ持ツテ居ルノデハナク、唯政治ハ自己勢力ノ維持擴大ノ手段デアツテ、從ツテ國民ハ塗炭ノ苦シミニ陥ル外ナインデアリマス、其ノ理想ノ陋劣ナル四億民衆ノ爲ニ慨歎セザルヲ得ナイ次第デアリマス、近衛總理ノ演説セラレタルガ如ク、平時ニ於テ一國ガ隣邦ニ對スル敵對精神ヲ國是トシ、少年少女ノ教育ニ腐心シテ居ルト云フヤウナ、斯クノ如キコトガ古今東西ノ歴史ノ何處ニアルカ、是ガ嘗テ仁義ヲ以テ人類ノ理想トシタル民族ノ子孫デアルカト思フト、浩歎セザルヲ得ナイノデアリマス、皇軍奮起ノ精神ハ畏クモ開院式ニ賜リタル勅語ニ炳トシテ明カデアリマス、我々ハ決シテ支那國民ヲ敵トスルモノノデハナク、現今ノ誤レル指導精神ノ下ニ抗日侮日ヲ以テ我が日本國民ニ對スル南京政府以下軍隊ヲ敵トスルノデアリマス、日本民族ガ平和ヲ好愛スル國民デアルコトハ歴史ニ徵シテ明カデアリマス、近代歴史ニ於テ三百餘年間平和ノ持続サレタ國家ガ世界ノ何處ニアリマスカ、明治以後日清日露ノ兩役モ、自衛上奮起シタル已ムヲ得ザル戰テアツタコトハ明カナ事實デアリマス、近代西洋ニ高調セラル、國家間ノ爭議ノ解決ヲ、兵火ニ訴フルコトヲ絶対ニ否認スルト云フ理想ヘ、我々日本人ノ又理想トスル所デアリルコトハ遺憾至極ノコトデアリマス、最近マス、然ルニ今日世界ハ此ノ大理想ヲ實現スルコトヘ、尙不可能ノ状態ニ置カレテ居ルコトハ遺憾至極ノコトデアリマス、最近歐洲國際關係ニ眼ヲ注グナラバ明カナコト

デアッテ、即チ歐洲ノ諸國ガ軍備ノ擴大ニ
初ニ於テ日本ガ此ノ理想ノ下ニ努力シタカ
ス、今回支那トノ戰爭ニ於テモ、如何ニ當
ト云フコトハ明カナル所デアリマス、支那
ガ平和的ノ折衝ニ應ゼズ、益々作戰準備ヲ
進ムルノ狀態デアリマシテ、日本ハ已ムラ
得ズ之ニ向ツテ應戰致スモノデアリマス、
我々東洋ニ於ケル平和維持ノ大責任ヲ有ス
ル者ハ、斯クノ如キ隣邦ト到底手ヲ携ヘテ
進ムコトハ出來ナイノデアリマス、現在支
那ノ如キ、近代國家ノ形態ヲ具備セズ、殊ニ
又國際正義ノ上ヨリ許スベカラザル誤レル
抗日侮日ヲ國是トシ、剩サヘ最近ハ共產主義「ソ」聯ト提携ノ隕サヘアル如キ隣邦ノ存
在ハ、東洋ノ民族ノ爲ニ甚ダ不幸ト言ハナ
トハ又已ムヲ得ザル所デアルノデアリマ
ケレバナラナイノデアリマス、斯クノ如キ
隣邦ニ對シ徹底的ノ膺懲ノ戰サラ進ムルコ
トハ又已ムヲ得ザル所デアルノデアリマ
ス、今日我々ハ竝ニ協賛ヲ與ヘムトスル二
十億圓ノ軍事豫算ハ敢テ少額デハナイノデ
アリマスガ、此ノ目的ノ爲ニ有效ナル結果
ヲ招來スルナラバ、極メテ安價ナルモノデ
アルト言ヘネバナリマセヌ、且又此ノ目的
到達ノ爲ニハ更ニ又多額ノ軍事費ヲ支出ス
ルモ國民ハ敢テ辭スル所デナイト固ク信ズ
ルノデアリマス、支那ハ一日モ早ク日本ノ
理想ヲ諒解シ、一日モ早ク戰禍ヲ轉ジテ支
那國民ノ福祉ヲ増進スペク、賢明ナル方途
ニ出ヅベキデアリマス、苟モ此ノ方途ニ出
デザル限り、支那ハ遂ニ亡國ノ悲運ヲ嘗ム

ルヨリ以外何モノモナイト考ヘルノデアリ
マス、幸ニ支那ハ速カニ覺醒シテ、日本民
族ト渾然一體ヲ成スナラバ、東洋文化ノ光
輝ヲ世界ニ發揮シ、世界人類文化ノ水準ヲ
一層向上セシメ得ルコトト信ズルノデアリ
マス、此ノ意味ニ於テ私ハ此ノ壇上ヨリ聲
高ク且強ク、支那民衆ニ呼ビカケタイト思
ヒマス、我々ハ支那民衆ヲ敵トスルモノニ
非ズ、寧ロ我々ハ同文同種ノ支那民族ト共
ニ互ニ手ヲ携ヘテ、社會文化ノ向上ニ寄與
セムトスル遠大ナル理想ヲ有ツモノデアリマ
ス、數千年ノ昔ニ我が國ニ輸入サレタル
支那文化ハ我ガ國土ニ深ク培ハレ、今日日
本獨得ナル文化ヲ醸成シテ居ルノデアリマ
ス、古來支那精神文化ノ中心ヲ成シタル仁
義ノ觀念ハ今日日本精神ノ中ニ深ク織込マ
レテ居ルノデアリマス、希クハ支那四億ノ
民衆ハ速カニ我々ノ理想ヲ諒解シ、共ニ俱
ニ手ヲ携ヘテ東洋民族ノ發展、東洋文化ノ
向上、延イテハ世界文化ノ進展ノ爲ニ協力
スル日ノ一日モ近カラムコトヲ希ウテ止マ
スノデアリマス、此ノ意味ニ於テ私ハ此ノ
豫案三案ニ對シテ滿腔ノ贊意ヲ表スル者
デアリマス

トニ付テハ、最早既ニ論議ヲ加フル餘地ハアリマセヌ、私ハ此ノ戦争ガ獨リ東洋ノ平和ノミデナク、世界全體ニ關係ノアルト云フ意味ヲ此處カラ述べテ見タイト思ヒマス、此ノ戦ハ蘆溝橋ニ於テ支那軍ガ不當ナル射撃ヲシタト云フコトカラ起ツクノデアリマスガ、其ノ時ハドウ云フ動機デアッタカ、ドウ云フ目的デアッタカ、又ドウ云フ人物ガ居ツクカ、色々ノ原因ガアッタデアラウガ、今日ハ當時ノ原因ハ悉ク吹キ飛バサレテシマッテ、全ク新シイ時局ニナッテシマッタ、私ハ斷言シマス、今ヨリ三十餘年前ニ北京ニ起ツク所ノ團匪ノ亂ノ再現デアルト云フコトヲ茲ニ明言スルノデアリマス、今日ハ最早北支事件デモナケレバ日支事件デモナイ、團匪ノ再現デアリマス、今ヨリ三十餘年前ニ山東ノ一角ニ義和團ト云フ宗教ノヤウナ愛國運動ノヤウナモノガ起キマシタガ、「ドイツ」ガ「ドイツ」人ヲ殺戮シ、其ノ名譽ヲ傷ツケタト云フコトカラ色々ムツカシイ問題トナッテ、到頭是ガ一切ノ外國人ヲ排斥シ、一切ノ北京ニ於ケル外國人ヲ殺シテシマフト云フ大運動トナッテ、天津、北京ノ間交通ガ止ツシマッテ、北京ニ於ケル列國人民ノ生命財産ハ風前ノ燈アリマシタ、當時歐洲列國ハ日本ニ依頼シテ云フノデ、我ガ國ハ其ノ依頼ニ依ツテ兵ヲ出シ、各國共ニ共同シテ、遂ニ我ガ國レト云フノデ、我ガ國ハ其ノ依頼ニ依ツテ兵ヲ出シ、各國共ニ共同シテ、遂ニ我ガ國リナイノデアルカラ、是非陸兵ヲ出シテ吳

各國ノ人民ヲ救ヒ出シタ、若シ日本ガ陸兵外國人ハ一切餓死若シクハ殺戮セラレ、其ノ禍ガ支那全國ニ及シテ、各居留地ハ悉ク潰滅シタデアラウト思ヒマス、之ヲ救ツタノハ我ガ日本ノ出兵ノ力デアリマシタ、今日ノ時局ヲ見マスト、最早普通ノ事件デナイ、團匪ノ亂ノ再現デアル、即チ其ノ證據ハ南京ニ於ケル思慮アル政治家ハ悉ク權力ヲ失ツテ、共產黨若シクハ外國排斥派ノ手ニ落チテシマッタ、思慮アル政策ハ一ツモ現レナイ、而シテ其ノ結果ハ「ソヴイエト」ト約束ラシテ、表向ハ唯不可侵條約デアルガ色々ノ祕密工作ラシテ居ルヤウデアリマス、而シテ其ノ支那ト「ロシヤ」ト接近ノ結果トシテ、一大方針ガ變ラテシマッテ、現レタ所ハ日本排斥デアルガ、一切ノ外國人ヲ排斥スルト云フ傾向ニナッテ來マシタ、聞ク所ニ依レバ「キヤセー・ホデル」ヲ爆撃スル前ニ當ツテ、居留地全體ニ向ツテ爆撃ヲ加ヘヨウデハナイカト云フ說ガ出タガ、マダ其ノ時ハ穩和ナル政治家ノ意見ガアッタ、今其ノ時機デナイト云フノデ之ヲ抑ヘタノデアルガ、抑ヘ切レナイ部分ガ「キヤセー・ホデル」ノ爆撃トナリ、「プレシデント・フーヴァー號」ノ爆撃トナリ、「アメリカ」ノ旗劣ニシテ、誤ツテ傷ツケタト言テ居リマスガ、決シテ誤ツタノデハナイ、心アツテヤツタノシタ、世間之ヲ解釋シテ、支那人ノ技術拙デアルト思フ、彼等ハ日本排斥ト言ツテ居ル

ガ、何故外國人全體ヲ排斥スルト言ハヌカ、
各國ハ日本ノ進出ニ對シテ嫉妬心ヲ持ッテ
居ルコトヲ利用シテ、各國ヲ控ヘサシテ日
本ダケ叩ケバ宜イト云フ方針ナノデ、恐レ
ル所ハ唯日本ダケダ、各國ハ陸戰隊シカ出
シ得ナイノデアルガ、陸兵ヲ出シ得ルノハ
日本人タケデアルカラ、此ノ日本ヲ抑ヘテ
シマベハ爾餘悉ク滅殺スルコトガ出來ルト
思ツテ居ル、彼等ノ胸中ノ考ヘ居留地ヲスツ
カリ回収スルコトデアル、治外法權ヲ悉ク
撤廢セシメルコトデアル、外國カラ借リタ
金ハ一切御斷リシテ踏倒シテシマフト云フ
コトデアル、外國人ノ事業ハ悉ク沒收スル
ト云フコトデアル、是ガ彼等ノ最後ノ考デ
アルガ、彼等ハ是等ノ暴虐ナルコトヲ實行
シテシマツタ、昭々トシテ斯クノ如キ例方
アルノヲ見テ、彼等ハ此ノ例ヲ行ハムトス
ルノデアリマス、容易ナラヌ世界ノ敵デア
リマス、我々ガ今ヤラムトスル所ハ何デア
ルカト云ヘバ「ベルシヤ」ノ野蠻人ガ「ヨー
ロッパ」ヲ進撃シタ時、「テミストクレス」方
「サラミス」ニ於テ戦ツテ、此ノ蠻軍ヲ抑ヘタ
ト同ジコトデアル、上海ハ既ニ「サラミス」デ
ノ貿易ガ殖エル、我々ノ貸シタ金ノ利息ハ
良クナルト云フヤウナ眼前ノ小商人ノ考ヲ
以テヤッテ居ルノデアリマスガ、一切ノ日本

本ガ敗退シタトシタナラバ次ニ來ルモノヘ
彼等デアル、支那人ノ言葉ニ、唇亡ビテ齒寒
シト云フコトガアル、外國人ガ今其ノ齒ノ
用心ヲシナクチヤナラヌ時デアル、私ハ彼
等ガ日本ノ三十餘年前ニ大兵ヲ出シテ北京
ヲ救シタコトヲ回顧シテ貴ヒタイ、我々ガ陸
兵ヲ出サナカッタラ外國人ハ一切殺サレテ
外國人ハ支那カラ悉ク追拂ハレタデアラウ
ト云フコトヲ回顧シテ貴ヒタイ、今ヤ我々
ハソレヲ繰返シテ居ルノデアル、然ルニ外
國人ハ此ノコトヲ悔ラズ、眼前ノ利益ヲ追
ヒ、鐵砲ヲ賣ル、人ヲ貸ス、小商人ノ如キ
コトヲ考ヘテ居ルガ、明日ノコトヲ考ヘテ
見ヨ、彼等ハソレヲ考ヘテ貴ヒタイ、私ハ
此ノ壇場ニ喋ベル聲ガ各國ニ響イテ彼等ヲ
回顧セシメタノデアリマス、サウシテ私
ハ必ズ彼等ハ考ヘルダラウト思フ、我々ノ
飛行機ハ今廣東ヲ擊ツタ、南京ヲ擊ツタ、之
ヲ斷片的ニ見レバ何事デモナイガ、軍事知
識ノナイ人々ニハ何ンデモナイ、「ヨーロッ
パ」ノ政治家若シクハ軍事専門家ノ意見ヲ
聞イタナラバ、東洋ノ大半ハ日本軍ノ射程
ノ中ニ入ッテ居ルト云フコトヲ考ヘルデア
ラウ、日本ヲ憎ミ、若シクハ嫌ガル心ガ
是ト共ニ殖エルデアラウガ、同時ニ日本ヲ
尊重シナケレバナラヌト云フ心ハ殖エテ來
ルデアラウト思フ、茲ニ於テカ我々ハ「ヨー
リマス、此ノ意味ヲ「ヨーロッパ」人ニ悟テ

貰ヒタイノデアリマス、今日支那ノ状態ハ
残忍性ニ於テ、其ノ盲目ナルコトニ於テ團
匪ノ再現デアル、恰モ盲馬ニ鞭打ッテ深キ谷
ニ入ルヤウナモノデアル、誠ニ御氣ノ毒デ
アリマス、然ラバ最早望ガナイカト言ヘバ、
私ハ尙一縷ノ望ヲ持ッテ居リマス、今井上
子爵ノ述ベラレタ如ク支那ハ大國デアリ、
舊國デアリ、其ノ歴史的ノ基礎ガ深イ、必
ズヤ生民ヲ塗炭カラ救ハナケレバナラヌト
云フコトヲ考ヘテ、世間ノ毀譽褒貶ヲ度外
ニ附シテ、終局ヲ考ヘル人ガ出テ來ルデア
ラウト思フ、我々ハ彼等ヲ擊ツノハ支那人
民ヲ憎ムニアラズ、支那ノ軍閥ヲ憎ムガ爲
デアルト云フコトヲ考ヘテ、我々ノ意思ガ
分ル時機ガ來ルデアラウト思フノデアリマ
ス、ドウカソレ迄一日モ早ク彼等ガ此ノ迷
カラ醒メムコトヲ望ム者デアリマス、此ノ
豫算ハ無論一人ノ異論ナク喜ンデ協賛セラ
レルデアラウト思ヒマスガ、此ノ豫算ヲ政
府ハ有效適切ニ使ハレテ速カニ成績ヲ擧ゲ
テ國民ノ信賴ニ報ヒラレムコトヲ希望致シ
マス

在東京市内ニ起シテ居ル、我々ガ日々目撃シマス現状ニ於テ、毎日澤山ノ「トラック」ニ男子ノミナラズ女子迄方打乗リマシテ萬歳萬歳ヲ唱ヘテ東京驛頭ニ出征ノ兵士ヲ送ツテ居ラレル、誠ニ美シイ情景ダト思ヒマス、又街頭ニハ千人針、所謂女子ガ通行ノ人ニ針ヲ持ツテ彈ノ當ラナイヤウナ爲ニ千人針ヲ御願スル、誠ニ女ラシイ美シイ銃後ノ後援ト私ハ喜ンデ居リマス、上下緊張シ切ッタ状態デアルト思ヒマス、唯餘リニ緊張シ過ギテ及バザルヤウナコトガアツチハナラナイト云フヤウナ意味ニ於テ舉國一致ノ希望ヲ私ハ少シ申述べタイト思ヒマス、少シク古イ例ヲ申上ゲテ相濟ミマセヌガ、明治十年ニ西南ノ役ガ九州ノ一角ニ起リマシタ時ニ、其ノ當時ノ東京ノ状態ヲ聞キマスト、如何ニモ西郷サント云フ人ガ大人物デアツタト想ヒマスガ、多クノ東京市民ガダウモ西郷サンハ東京ニ乗り込ンデ來ルニ逮ヒナイ、大事ナモノヲ柳行李ニ入レテ田舎ノ親戚ニ預ケテ置カウト云フヤウナ、人心極度ノ不安ノ状態ニアツタサウデアリマス、ルモノデヘナイ、先づ以テ此ノ輦轂ノ下ノ人心ノ不安ヲ一掃シテ掛ルコトガ何ヨリモ其ノ時ニ明治政府ノ中心ノ閣僚、今デハ閻僚デアルガ、其ノ時ノ中心ノ政治家ガ相談サレテ、苟モ輦轂ノ下ガ斯クノ如キ人心不安ノ状態デアツテハ如何ナル政治モ行ハレ先デアル、協議ノ結果西南戦争ニ對シテ非常ニ軍費ヲ要スル時デ、非常ニ心配ノ時デ

アリマシタケレドモ、斯クノ如キ状態デハ夷心ノ安定ハ逆モ得ラレスカラシテ、此ノ際ハ先ヅ政府ノ大官ハ進デ家ヲ建築スルナリ、或ハ庭園ヲ造ルナリ、努メテ金ヲ使フコトヲヤラウヂヤナイカ、ソレカラ又政府以外ノ民間ノ富豪、其ノ他其ノ時分ノ華族テ貰ヒタイ、此ノ政策ガ直チニ行ハレマシテ、政府ノ大官ハ或ハ茶室ヲ造ルトカ、或ベク土木ヲ起シ、多クノ人間ニ勞銀ヲ散ジテ、道具ヲ買フトカ、又ハ財界ノ人ガ別荘ヲ造ルトカ云フヤウナコトガ續々トシテ起ツタノデアリマス、此ノ反響ガドウアリマシタカト云フト、世間デヘドウモ政府ノ大官ガ新ラシク茶室ヲ造ッテ居ル、ドウモ西郷サンナンカ來ルヤウナ氣配ガ見エナイ、是デハ田舎ニ預ケタ荷物ナンカハ不自由ダカラ取リ戻サウト云フヤウナコトニナリマシテ、スッカリ東京ノ人心ガ安定シタ、其ノ時ニ所謂軍事公債ノ發行ガ行ハレタ、當時ノ十五銀行ガ非常ナ多額ノ應募ラシタ、ソレニ從ツテ他ノ銀行モ之ニ追従シテ、非常ニ軍事公債ノ募集ハ成功シタ、是ハ私ハ立派ナルダラウト思フ、私ハドウカ譽國一致人心ノ安定ヲ得テ、要ラザル不安ニ戰クコトナク、大國ノ態度ヲ以テ政府民間一致シテ、此ノ豫算ノ圓滿ナル進行ヲ期シタイト思フ、政府ノ態度モ國民ノ思想ヲ支配スルコトガ非常ニ大事デアリマスケレドモ、亦民

ハ政府ハ右ニ申上ゲマシタ軍用米ノ供給ニ

伴ヒマシテ米穀需給調節特別會計ニ屬スル

米穀ノ用意ラスル必要ガアルノミナラズ、

今回ノ事變ニ即應シテ、政府所有米ノ數量

ヲ一層充實シ、國民ノ主要食物タル、米穀

ノ調節上、萬遺憾ナキヲ期スル必要ガアリマス

ノデ、政府ハ特ニ必要アリト認メマシタ場

合ニヘ、一定ノ條件ノ下ニ米穀ノ買入ヲ爲

シ得ルノ途ヲ開カムトスル點デゴザイマ

ス、委員會ニ於キマシテ極メテ熱心ナル質

疑應答ガゴザイマシタガ、茲ニハ其ノ中ノ

一二ヲ申上ゲルニ止メタイト存ジマス、先

づ應召軍人ノ家族遺族ニ對スル政府米ノ拂

マシテ政府ハ應召軍人ノ家族遺族ニ對シテ

ハ、政府米ノ内成ルベク價格ノ低廉ナルモ

ノヲ選擇シ、手續モ出來得ル限り簡略ニシ

テ優先的ニ拂下ヲ爲スト共ニ、其ノ鐵道運

貨ヲ五割引ニ減額致シマシテ、便宜ヲ圖リ

本法律案第二條ニ依ル買入ノ時期如何ト云

フ質問ガゴザイマシタガ、之ニ對シテ米穀

ノ出廻リ期ニ於テ買入ヲ爲ス時ハ、政府ノ

財政上ノ關係ヨリ見ルモ、亦米穀生産者及

消費者ニ對スル影響ヨリ見ルモ、最モ適切

ト認メラレルヲ以テ、大體買入ハ出廻リ期

ヲ中心トシテ行ヒタイ見込デアルト云フ答
辯ガゴザイマシタ、次ニ臨時肥料配給統制
法案ニ付テ報告致シマス、本法律案ハ此ノ時
局ニ當リマシテ、農村經濟ノ安定並ニ食糧
生産ノ確保ノ見地ヨリ致シマシテ、最モ留

意ヲ要スル肥料ニ付キマシテ、其ノ供給ノ

圓滿ト價格ノ公正ヲ保持スル爲、必要ト認

メラレマスルニツノ事項ヲ規定シテ居ルノ

デゴザイマス、其ノ第一ハ本法ニ依リ適用ヲ

受クル肥料ハ當當リ販賣肥料中最モ重要デ

アリマス硫酸「アムモニア」ト致シマシテ、

之ニ關シ當業者ヲシテ一つノ機關ヲ組織セ

シメ、之ニ依リ配給統制ヲ行ハシメヨウト

スルノデゴザイマス、第一ハ今後ニ於ケル

時局ノ進展ニ伴ヒ、肥料事情ニ著シキ變化

ガ生ジマシタ場合、政府ニ於テ之ニ對應ス

ル機宜ノ處置ヲ爲シ得ル途ヲ開イテ置カウ

トスルノデゴザイマス、委員會ニ於キマシ

テハ政府委員トノ間ニ熱心ナル質疑應答ガ

ゴザイマシタ、其ノ主要ナルモノニ付テ簡

單ニ申上ゲマス、第一ニ本法律案ニ依リ配給統

制ヲ行フ機關ヘ、配給業者ガ中心ニナルコト

ガ本制度ノ目的カラ考ヘテ適當デアルヤウニ

認メラレルケレドモ、之ニ對スル政府ノ所見

如何ト云フ質問デゴザイマス、之ニ對シマシ

テ政府ハ、配給統制機關ノ組織ニ當ッテハ、本

制度ノ趣旨ニ十分合致スルヤウ關係業者ヲ以

テ適當な團體ヲ作ラシムルコト致シタイト云

フ答辯デゴザイマス、第二ニ本制度ハ公定價

格ト消費者ノ手ニ渡ル時ノ小賣價格トノ差

ヲ縮小スルコトガ目的デナケレバナラナイ

ケレドモ、本制度ノ運用ニ依リ之ヲ期待シ

得ル見込デアルカ如何トノ質問デゴザイマ

ス、之ニ對シマシテ本法ノ運用ニ當ッテハ

商業者モ十分時局ヲ認識シ、政府ノ方針ニ

テ促シ、自給肥料ノ增產獎勵ニ力ヲ注イデ

居ルケレドモ、今後更ニ之ガ獎勵施設ニ努

メタイト思フ、又硫酸「アムモニア」等ノ生產

ノコトデアルカラ、之ガ方策ニ付テモ十分

增加ヲ圖ルコトノ急務デアルコトハ固ヨリ

ノコトデアルカラ、之ガ方策ニ付テモ十分

ノコトデアルカラ、之ガ方策ニ付テモ十分

制度ノ目的ヲ達成スル爲種々考慮ヲ要スル

諸點ニ付テモ、遺憾ナキヤウ處置シテ行キ

タイト思フ、ソレカラ第三ニ、現下ノ時局ニ

鑑ミ自給肥料竝ニ硫酸「アムモニア」等ニ付

レドモ、之ニ對スル政府ノ對策如何等ノ質問

ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテハ、政府

ニ於テハ現ニ農會其ノ他產業團體等ノ活動

ニ供シマス、兩案全部、委員長ノ報告通り

ニ御異議ハゴザイマセヌカ

メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀會

ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平頼壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 兩案ノ第三讀會

ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通

リテ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平頼壽君) 日程第六、輸出

入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委

員長報告、委員長樺山伯爵

議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平頼壽君) 御異議ナイト認

メマス

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル

法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報

告候也

昭和十二年九月八日

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
委員長 伯爵樺山 愛輔

〔伯爵樺山愛輔君演壇ニ登ル〕

○伯爵樺山愛輔君 此ノ法案ニ付キマシテ

昨七日及本日ノ二日間ニ瓦リマシテ、

委員會ヲ開キマシテ審議致シタノデアリマ

ス、本法案ノ提案要旨ニ付キマシテハ、過

日本議場ニ於キマシテ、商工大臣ヨリ御説

明ガアリマシタ通リデ、之ヲ省略致シマシ

テ、委員會ニ於ケル經過ヲ簡單ニ申上ゲタ

イトイ思ヒマス、最初ニ商工大臣ヨリ本案提

案ノ理由ノ説明ガアリマンテ後、各委員ヨ

リ本案ニ依リ差當リ輸入ヲ制限セムトスル

商品ノ種類、本案ノ實施ハ中小商工業ニ相

當ナル影響ヲ與フルモノト認メラル、ガ、

之ニ對スル政府ノ所見ト、本案ノ實施ニ依

リ輸出貿易ヲ萎縮セシムル虞アリト認メラ

ル、ガ、之ニ對スル政府ノ所見ト、本案ノ

實施ニ際シ民間關係業者トノ連絡方法、支

那事變終了時期如何等ニ關シ詳細ナル質

疑ガアリマシテ、右ニ對シマシテ商工大

臣ヨリ、本案ニ依リ差當リ輸入ヲ制限セ

ムトスル商品ハ、不急品、不要品ノ外、

棉花、羊毛、木材ニ付テ考慮中デアル、本案

ノ實施ノ結果及ス中小商工業者ニ對スル影

響ニ付テハ、代用原料品ノ使用等ノ方法ヲ

講ジ、極力之ヲ避クルト共ニ、必要ニ應ジ

テハ金融上、技術上ノ援助ヲ與ヘ、其ノ影響

ヲ防止シ、本案ノ實施ニ依リ輸出貿易ヲ萎

縮スルノ虞アル點ニ付テハ、銳意諸種ノ方

法ニ依リ、輸出ノ振興ニ努力スル、本案實

施ニ際シ、民間關係者トノ連絡方法ニ付テ

ハ、事軍機、財政等、機密ヲ要スルモノ以

外ノ事項ニ付テハ、既存ノ委員會ニ諮問ス

ル等ノ方法ニ依リ、又専門委員ノ設置ノ方

法等ニ依リ、出來得ル限り連絡ヲ執リ、產

業ノ實情ニ即スルヤウ十分注意スベク、又

支那事變終了ノ時期ハ、勅裁ヲ仰イデ定メ

ルガ、勅裁ヲ仰グ時期ハ、日支兩國內ニ事

變ヲ終結セシムル協定ガ出來、用兵上カラ

モ略、平素ノ狀態ニ復シタト認ヌタル時ナル

コト等ノ答辯ガアリマシテ、次イデ採決ヲ

致シマシタ結果、滿場一致ヲ以テ可決致シ

マシタ次第ゴザイマス、右御報告申上ゲ

マス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ

ケレバ本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二

讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 直チニ本案ノ第三讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會

ヲ開キマス、本案全部ニ二讀會ノ決議通リデ

御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會

ヲ開キマス、本案全部ニ二讀會ノ決議通リデ

御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第七、臨時

船舶管理法案、政府提出、衆議院送付、第

一讀會ノ續、委員長報告、委員長溝口伯爵

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第七、臨時

船舶管理法案、政府提出、衆議院送付、第

一讀會ノ續、委員長報告、委員長溝口伯爵

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第七、臨時

船舶管理法案、政府提出、衆議院送付、第

一讀會ノ續、委員長報告、委員長溝口伯爵

メマス

昭和十二年九月八日

委員長 伯爵溝口 直亮

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔伯爵溝口直亮君演壇ニ登ル〕

○伯爵溝口直亮君 只今議題ニナリマシタ

ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通り

御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會

ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題

ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通り

御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會

ヲ開キマス、本案全部ニ二讀會ノ決議通リデ

御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會

ヲ開キマス、本案全部ニ二讀會ノ決議通リデ

御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會

ヲ開キマス、本案全部ニ二讀會ノ決議通リデ

御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

レマシタル輸出入ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案竝ニ外國爲替管理法ト相俟チマシテ、物資及資金ノ適合、使用ノ調整ヲ期セムトスル重要ナル非常立法デアリマス、從ノ點ニ集中セラレタル感ガアリマス、質疑ノ詳細ハ速記錄ニ讓ルコトニ致シマンテ、其ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、統制ハ統制ヲ呼ブ、政府ハ如何ナル主義ニ依ッテ統制ヲ圖ラムトスルノデアルカ、政府ハ統制ハ非常時ニ於ケル最モ有效ニ經済能力ヲ發揮セムトスル手段デアル、故ニ成ルベク必要ノ程度ニ止メテ置イテ、主トシテ自治統制ヲ本旨トスル次第デアル、從テ本法ノ如キ其ノ施行期日ニ於キマシテモ、事變終了後一箇年ト限定シテアル次第デアル、次ニ本法運用ニ關シテ最モ慎重ナル注意ヲ要スル次第デアルガ、殊ニ資金ガ直接間接國防關係ニ偏在スルニ付テ、政府ガ許可又ハ認可スル事業ノ區別ヲスルニ當ツテモ、公正ニシテ摩擦ヲ防グノ用意ヲ肝要トスルノデアル、之ガ爲ニ政府ハ、兩院議員、民間有識者及官吏等ヲ均等ノ割合ヲ以テ組織セル有力ナル委員會ニ於テ、之ヲ審議決定スル方針デアルト辯明シテ居リマス、又本法施行前ニ於キマシテハ、會社ガ增資等ヲ決定シタル場合ニ於ケル政府ノ方針ニ付キマシテハ、政府ハ經過的ノ運用ニ付テハ十分ナル注意ヲ拂ヒ、寛大ナル取扱ヲ爲ス旨ノ辯明ガゴザイマシタ、尙本法ノ施行期間ヲ事變終了後一箇年ト

限定期間シタルニ付キマシテ、終了時期ノ認定
ノ形式ニ付質問ガゴザイマシタガ、政府ハ本
件ハ現行恩給法ノ例ニ倣ヒマシテ勅裁ヲ經
テ之ヲ公布スル旨ヲ答辯シテ居リマス、次
ニ軍人軍屬ニ對スル租稅減免徵收猶豫ノ法
案ニ付キマシテ、此ノ恩典ハ地方稅ニ及ブ
モノナリヤ否ヤノ質問ニ對シテ、國稅、附
加稅ニ付テハ當然及ブベキモノデアルガ、
戸數割、家屋稅ニ付キマシテハ、地方財政
ノ現狀ニ鑑ミマシテ之ニ及バナイケレド
モ、政府ハ現行規定ニ於テ便宜ノ取扱ヲ爲
ス旨ノ答辯ガゴザイマシテ、所フノニ質疑ノ

共原案ノ通リニ可決セラレマシタ、思フニ
斯クノ如キ重大事件ガ迅速ニ審議セラレタ
ル所以ノモノハ、一面ニ於キマシテ、第一線
ニ於テ悪戦苦闘、皇威ヲ中外ニ輝シツ、ア
ル我ガ忠勇ナル將兵各位ノ勞苦ヲ偲ビツ、、
少クトモ非常立法ノ形式ニ依リ、戰時財政
及經濟ノ對策ヲ樹立シ、以テ戰局ヲシテ
愈々有利ニ導キ、上優渥ナル聖旨ノ萬分ニ
報ジ奉ラムトスル國民的熱意ノ發露ニ外ナ
ラナイコトヲ確信スルモノデアリマス、委
員長ト致シマシテ、報告ヲ終ルニ當リ、一
言之ヲ附言スルノ光榮ヲ有シマス（拍手起
ル）

○議長（伯爵松平頼壽君） 別ニ御發議モナ
ケレバ五案ノ採決ヲ致シマス、五案ノ第二
讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（伯爵松平頼壽君） 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第一讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長（伯爵松平頼壽君） 西大路子爵ノ勅
議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（伯爵松平頼壽君） 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 五案ノ第三讀會ヲ開キマス、五案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ可決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

軍需工業労員法ノ適用ニ關スル法律案
臨時馬ノ移動制限ニ關スル法律案

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ニテ議事ハ終了致シマシタ、是ニテ散會致シマス

